

河野正輝 略歴

略 歴

- 1941年 7月26日 宮崎県に生まれる
- 1960年 3月 宮崎県立福島高等学校卒業
- 1964年 3月 九州大学法学部卒業
- 1964年 4月 九州大学大学院法学研究科修士課程入学
- 1966年 3月 同修了（法学修士）
- 1966年 4月 岡山大学法文学部助手
- 1968年 4月 同講師
- 1972年 4月 同助教授
- 1980年 4月 岡山大学法学部教授
- 1988年 2月 論文「社会福祉権の研究」により法学博士（法博乙）の学位授与（九州大学）
- 1988年 4月 九州大学法学部教授に配置換え
- 1992年 7月 福岡市国民健康保険運営協議会委員
- 1993年 1月 福岡県特別養護老人ホーム契約入所システム検討委員会委員長
- 1993年 6月 福岡県高齢化社会長期ビジョン検討委員会委員
- 1994年 4月 日本学術会議社会法学研究連絡委員会委員
- 1996年 7月 九州大学法学部長（1998年 6月まで）
- 1997年 4月 （社）日本腎臓移植ネットワーク（九州沖縄ブロックセンター）地域評価委員
- 1999年 9月 福岡地方最低賃金審議会委員（2011年 3月まで会長）

2000年12月 日本社会保障法学会代表理事（2002年1月まで）
2001年7月 大学設置・学校法人審議会専門委員（大学設置分科会）
2001年9月 大学評価・学位授与機構大学評価委員会専門委員
2001年11月 国立社会保障・人口問題研究所研究評価委員
2003年3月 九州大学大学院法学研究院教授を退職
2003年4月 熊本学園大学社会福祉学部教授
2003年7月 日本学術会議会員（第19期）
2012年3月 熊本学園大学社会福祉学部教授を退職
2012年4月 熊本学園大学特任教授（大学院社会福祉学研究科担当）、
今日に至る

研 究 業 績

著書

- 『社会福祉の権利構造』 有斐閣 1991
『社会福祉法の新展開』 有斐閣 2006

共著書

- 『社会福祉入門』 有斐閣 1979
『住居の権利—ひとり暮らし裁判の証言から』 ドメス出版 1981
『高齢社会と介護システム』 尚学社 1997
『介護保険法—法案に対する新たな提案』 法律文化社 1997
『高齢者の法』 有斐閣 1997
『講座 障害をもつ人の人権③—福祉サービスと自立支援』 有斐閣 2000
『講座 障害をもつ人の人権①—権利保障のシステム』 有斐閣 2002
『新現代社会福祉法人門 第2版』 法律文化社 2003
『新現代社会保障法入門 3版』 法律文化社 2005
『社会福祉法入門 第2版』 有斐閣 2008
『レクチャー社会保障法』 法律文化社 2009
『障がいと共に暮らす—自立と社会連帯』 放送大学教育振興会 2009
『社会保険改革の法理と将来像』 法律文化社 2010
『社会保障論 第2版』 法律文化社 2011

翻訳書

- ダニー・ピーテルス著 『社会保障の基本原則』 法律文化社 2011

論文

- 「1834年救貧法改正の一考察」(岡山大学法経学会雑誌17巻4号) 1968
- 「私的扶養と公的扶助—保護の補足性の史的展開に即して—」
(岡山大学法学会雑誌20巻1号) 1970
- 「生存権と老齢福祉年金」(法律時報43巻14号) 1971
- 「併給調整の構造と不合理性」(岡山大学法学会雑誌21巻3・4号) 1972
- 「労働法と社会保障法の異質性と同質性」(日本労働法学会誌40号) 1972
- 「老齢年金保障の構造と法的問題点」(季刊労働法86号) 1972
- 「国民年金制度をどう改革していくか」(賃金と社会保障615号) 1972
- 「いわゆる「防貧施策」は憲法25条1項の適用をうけないか—恩給受給者の生活実態にふれて—」(岡山大学産研報告書第6集) 1973
- 「老人福祉をめぐる訴訟—実質的平等の要請—」
(ジュリスト臨時増刊572号) 1974
- 「社会保障法における併給調整の法理」(健康保険29巻5号) 1975
- 「カルヴァート『社会保障法』とイギリス社会保障法の特質」
(国際社会保障研究17号) 1976
- 「憲法25条と「防貧施策」」(法律時報48巻5号) 1976
- 「社会保険給付と不法行為法」(ジュリスト臨時増刊691号) 1979
- 「障害給付の問題点—年金改革もう一つの課題」
(週刊社会保障1030号) 1979
- 「社会福祉サービスの法的特質—現行社会保障法下において」
(季刊労働法114号) 1979
- 「福祉とプライバシー」(ジュリスト臨時増刊742号) 1981
- 「婦人と社会保障」(『社会保障講座』(総合労研)第5巻) 1981
- 「社会福祉権の形成過程と現代的課題」(社会福祉研究30号) 1982
- 「社会福祉行政と費用負担の法的側面」(ジュリスト766号) 1982
- 「社会福祉の法と行財政—研究の課題と展望」
(『講座社会福祉』第6巻 有斐閣) 1982

- 「併給調整の新たな局面と堀木訴訟」(法律時報54巻7号) 1982
- 「堀木訴訟最高裁判決の問題点と法改正の課題」(法律のひろば35巻10号)
1982
- 「外国人と社会保障—難民条約関係整備法の問題点」(ジュリスト781号)
1983
- 「最低賃金」(『現代労働法講座』第11巻 有斐閣) 1983
- 「最低賃金と社会保障の算定基準—ジェラルド・スター論文の紹介と覚書—」
(『社会法の現代的課題』林迪廣先生還暦祝賀論文集 法律文化社)
1983
- 「社会福祉サービスの権利構造試論—カール・ウェルマンの福祉権論を手掛
りに」(季刊社会保障研究19巻3号) 1983
- 「社会保障法体系と年金統合」(ジュリスト810号) 1984
- 「社会福祉の課題」(『社会保障年鑑』1984年版) 1984
- 「健康権とヘルス・ロー」
(『社会保障の変容と展望』佐藤進先生還暦祝賀論文集 勁草書房) 1985
- 「『社会福祉におけるナショナル・ミニマム』の法的枠組み」
(『社会福祉学』日本社会福祉学会誌26-2号) 1985
- 「生存権と社会福祉—福祉ミニマムをめぐって」
(ジュリスト総合特集『転換期の社会福祉』) 1985
- 「社会福祉最低基準の法的検討—老人福祉サービスをめぐって—」
(『現代の生存権—制度と法理』荒木誠之先生還暦祝賀論文集 法律文化社)
1986
- 「公的年金・私的年金の法的問題—企業年金の現状と課題を中心に」
(ジュリスト864号) 1986
- 「社会福祉にみる在宅と施設処遇の法的争点」(法律時報59巻1号) 1987
- 「イギリスにおける福祉サービスの基準と登録制」
(岡山大学法学会雑誌36巻3・4号) 1987
- 「併給調整と堀木訴訟」(『堀木訴訟運動史』法律文化社) 1987

「社会福祉の再編成と権利論」(日本社会保障法学会誌 2号)	1987
「憲法25条の40年—社会福祉権の再構成と福祉立法の見直し— (社会福祉研究41号)	1987
「社会福祉権の再構成と福祉立法の見直し」 (季刊社会保障研究23巻 2号)	1987
「社会福祉サービスにおける最低基準保障の構造と法理」 (『労働法学の理論と課題』片岡昇先生還暦祝賀論文集 有斐閣)	1988
「アメリカにおける施設サービスの基準と処遇過程の権利」 (法政研究56巻 3・4合併号)	1990
「21世紀へ向けての社会福祉法の整備と課題」(社会福祉研究47号)	1990
「体系的視点から見た生活保護法の課題」(週刊社会保障1664号)	1991
「生活保護法の総論的課題」(日本社会保障法学会誌 7号)	1992
「生活保護制度改革の理論的課題—生活保護実態調査を踏まえて—」 (福岡県地方自治研究所報47号)	1992
「コミュニティ・ケア法の示唆するもの」(週刊社会保障1736号)	1993
「老人福祉制度の課題と将来」(週刊社会保障1752号)	1993
「社会福祉における人権論の課題—イギリスにおける研究動向の紹介」 (社会福祉研究57号)	1993
「福祉改革における社会権思想の発展—イギリスと日本(1)~(3)」 (社会問題月報367号~369号)	1993
「福祉改革—イギリスと日本の開き」(九大学報1319号)	1993
「在宅ケアにおける質と基準」(ジュリスト増刊『高齢社会と在宅ケア』)	1993
「在宅サービスの基準保障のあり方」(週刊社会保障1786号)	1994
「中嶋訴訟鑑定意見書」(福岡地裁)	1994
「ニーズと権利の間—英国コミュニティ・ケア法の場合」 (週刊社会保障1804号)	1994
「患者の権利法、ヨーロッパでは」(週刊社会保障1812号)	1994

「『新介護システム』の問題点と課題」(社会問題月報389号)	1995
「生活保護法における資産活用と収入認定—中嶋訴訟をめぐる—」 (法政研究61巻3・4合併号)	1995
「人権擁護の視点から—介護保険に必要なチェック機能」 (東京都社会福祉協議会『福祉展望』19号)	1995
「『ケアマネジメント』の法的課題」(週刊社会保障1830号)	1995
「イギリスの苦情処理手続基準」(週刊社会保障1839号)	1995
「イギリスの在宅支援サービス基準」(週刊社会保障1847号)	1995
「介護・老人福祉制度の課題と将来」(週刊社会保障1850号)	1995
「社会福祉の課題—利用者の権利保障」 (『これからの社会福祉』第1巻 有斐閣)	1995
「福祉と人権—いま何が問題か」(ジュリスト臨時増刊『福祉を創る』)	1995
「イギリスの介護保障とわが国介護保険の権利義務関係—在宅サービスを中心に」(日本社会保障法学会誌11号)	1996
「福祉における自己決定権と救済システム」(井上正三・高橋宏志・井上治典 編『対話型審理—「人間の顔」の見える民事裁判』信山社)	1996
「介護保険法案の立案と審議に望む」(法律時報68巻7号)	1996
「施設における権利保障—介護の全プロセスに権利の考え方を—」 (『施設における知的障害者・痴呆性高齢者の人権』東京都社会福祉協議 会・権利擁護センター)	1997
「介護保険法案の残された課題—自己決定権の保障と地域づくり—」 (社会問題研究所ブックレット)	1997
「社会福祉と法」(田端光美・右田紀久恵・高島進編『世界の社会福祉・イギ リス』旬報社)	1999
「社会福祉基礎構造改革と利用者の権利擁護」 (季刊社会保障研究35巻3号)	1999
「権利擁護システムと自治体の責務」(からだの科学臨時増刊『介護保険』)	1999

「『地域福祉権利擁護』の基本課題」(法政研究66巻2号)	1999
「社会保障の現代的課題—介護保険と自立の支援」 (九州国際大学法学論集6巻3号)	2000
「介護保険サービス契約モデル案の検討」(週刊社会保障2086号)	2000
「戦後社会福祉法制の展開」(三浦文夫・高橋紘士・田端光美・古川孝順編『講座・戦後社会福祉の総括と21世紀への展望 III 政策と制度』ドメス出版)	2001
「社会保障法の目的理念と法体系」 『21世紀の社会保障法(講座・社会保障法 第1巻)』法律文化社	2001
「介護保険と権利擁護」古川孝順・副田あけみ・秋元美世編『現代社会福祉の争点(下) 社会福祉の利用と権利』中央法規出版	2003
「社会保障の法体系と権利構造」社会関係研究9巻2号	2003
「権利としての社会福祉のゆくえ—法理念のゆらぎのなかで」社会福祉研究90号	2004
「社会保険法原則の見地からみた学生無年金障害者訴訟の争点」 社会関係研究10巻1号	2004
「自立支援サービスの新展開と権利擁護の課題」民商法雑誌132巻2号	2005
「権利擁護の構築—福祉サービスとしての権利擁護をつくる—」熊本学園大学社会福祉研究所報33号	2005
「権利擁護サービスにおける公的責任と成年後見制度の役割」 実践成年後見20号	2007
「諸外国における社会保険改革と基本理念」社会関係研究13巻2号	2008
「高齢者虐待防止法見直しの論点：法律学者の立場から」 高齢者虐待防止研究 4巻1号	2008
「社会福祉の権利と権利擁護(特集 権利擁護の10年 福祉は変わったか)」 月刊福祉92巻2号	2009
「日本国憲法における成年後見の位置付け」(相澤直子との共著) 実践成年後見 31号	2009

「『障がい法』の視点からみた障害者自立支援の課題」

日本社会保障法学会誌 25号 2010

「障害者の地域生活支援をめぐる法的課題—イギリス、アメリカにおける展開を手がかりに— 荒木誠之・桑原洋子編『社会保障法・福祉と労働法の新展開—佐藤進先生追悼』信山社 2010

「地域社会における生活の支援」

『地域生活を支える社会福祉（新・講座社会保障法 第2巻）』
法律文化社 2012

科研費等研究成果報告書

『地域福祉におけるクォーリティ・コントロール方式の構築に関する研究』
（平成5～6年度科研費・研究成果報告書） 1995

『福祉サービスの基準保障法制に関する研究』
（平成7～8年度科研費・研究成果報告書） 1997

『介護労働に関する調査研究の基本課題』（平成10年度「あすばる」介護労働研究会報告書） 1999

『「高齢者法」の権利構造に関する研究』
（平成9～11年度科研費・研究成果報告書） 2000

『社会保険における構造改革の国際比較分析と規範原理の再構築に関する研究』（平成17～19年度科研費・研究成果報告書） 2008

判例研究・評釈等

「児童扶養手当法における併給禁止と法の下での平等」
（法律のひろば25巻12号） 1972

「公的年金と老齢福祉年金との併給制限の違憲性—岡田訴訟—」
（別冊ジュリスト『社会保障判例』） 1977

「原爆症認定要件としての原爆起因性—桑原訴訟」
（別冊ジュリスト『社会保障判例』） 1977

「児童扶養手当法四条三項三号の違憲性」	
(荒木誠之・林迪廣編『判例研究社会保障法』法律文化社)	1979
「普通恩給受給による老齢福祉年金の支給停止の違憲性」	
(同上『判例研究社会保障法』法律文化社)	1979
「夫婦受給制限の違憲性」(同上『判例研究社会保障法』法律文化社)	1979
「社会保険給付と損害賠償の関係」(同上『判例研究社会保障法』法律文化社)	1979
「年金併給制限の合憲性—岡田訴訟控訴審判決—」	
(ジュリスト臨時増刊718号)	1980
「堀木訴訟」(小川政亮編『社会保障裁判』ミネルヴァ書房)	1980
「ひとり暮らし訴訟」(同上『社会保障裁判』ミネルヴァ書房)	1980
「国民健康保険法上の療養給付準則と高額療養費の支給」	
(民商法雑誌97巻1号)	1987
「朝日訴訟大法廷判決」(ジュリスト900号)	1988
「肺結核患者の強制退院事件」(別冊ジュリスト『医療過誤判例百選』)	1989
「被保護者の死亡と訴訟の承継」	
(別冊ジュリスト『社会保障判例百選(第2版)』)	1991
「未支給年金の請求権と訴訟の承継—本村訴訟」	
(別冊ジュリスト『社会保障判例百選(第2版)』)	1991
「生活保護世帯の預貯金と収入認定—加藤訴訟」(ジュリスト1039号)	1994
「中嶋訴訟—学資保険裁判」(法律時報71巻6号)	1999
「生存権と生活保護基準—朝日訴訟」	
(別冊ジュリスト『社会保障判例百選(第4版)』)	2008

概説書・事典

(1) 概説書

「公務員の災害補償」(角田豊・窪田隼人・佐藤進編『社会保障法入門』法律文化社)	1972
---	------

「国民年金法」(同上『社会保障法入門』法律文化社)	1972
「国民年金法(福祉年金)・児童扶養手当法」(佐藤進編『社会保障法判例』有斐閣)	1974
「社会福祉事業法・児童福祉法」(同上『社会保障法判例』有斐閣)	1974
「原爆被爆者・戦争犠牲者援護法」(同上『社会保障法判例』有斐閣)	1974
「恩給法その他」(同上『社会保障法判例』有斐閣)	1974
「国民年金法」(小川政亮編『社会保障法を学ぶ』有斐閣)	1974
「無拠出年金」(同上『社会保障法を学ぶ』有斐閣)	1974
「労働組合の組織」(『判例コンメンタール労働法Ⅰ』三省堂)	1976
「労働組合の内部関係」(『判例コンメンタール労働法Ⅰ』三省堂)	1976
「福祉サービス受給権と不服申立権」(佐藤進編『児童福祉法50講』有斐閣)	1976
「日本の社会保障」(角田豊・真田是編『労働者のくらしと社会保障』法律文化社)	1977
「生活保護給付」(荒木誠之編『社会保障法』青林書院新社)	1978
「社会保険の法律関係」(ジュリスト増刊『行政法の争点』有斐閣)	1980
「外国人と社会保障」(ジュリスト増刊『行政法の争点』有斐閣)	1980
「公務員年金法」(角田豊・窪田隼人・佐藤進編『社会保障法要説』法律文化社)	1980
「社会福祉」(園部逸夫・田中館照橘・石本忠義編『社会保障行政法』有斐閣)	1980
「国民年金法」(窪田隼人・佐藤進編『現代社会保障法入門』法律文化社)	1986
「社会福祉」(同上『現代社会保障法入門』法律文化社)	1986
「社会福祉の権利」(佐藤進編『現代社会福祉法入門』法律文化社)	1989
「社会福祉の行政組織」(同上『現代社会福祉法入門』法律文化社)	1989
「社会保険の法律関係」(ジュリスト増刊『行政法の争点(新版)』有斐閣)	1990

「社会福祉の理論と制度」(荒木誠之編『生活保障論』法律文化社)	1996
「社会福祉法制—法理論の構築と「生きた権利」をめざして—」 (『AERAMOOK社会福祉学のみかた』朝日新聞社)	1997
「高齢者と人権」 (直井道子・山田知子編『高齢者福祉—豊かな高齢期を築くために』放送大学教育振興会)	1999
「高齢者の医療と介護保険」 (同上『高齢者福祉—豊かな高齢期を築くために』放送大学教育振興会)	1999
「高齢者の雇用・年金・生活保護」 (同上『高齢者福祉—豊かな高齢期を築くために』放送大学教育振興会)	1999
「社会福祉の法制度」(岡本民夫・三ツ木任一編『社会福祉入門』放送大学教育振興会)	2000
「社会福祉士の権利擁護の役割」(養成講座編集委員会編『法学』中央法規)	2001

(2) 事典

「母子福祉年金と児童扶養手当法」(『社会福祉の基礎知識』有斐閣)	1973
「障害福祉年金と児童扶養手当—併給制限」(『社会福祉の基礎知識』有斐閣)	1973
「医療給付サービスと調整規定」(『社会福祉の基礎知識』有斐閣)	1973
「児童手当の受給要件」(『社会福祉の基礎知識』有斐閣)	1973
「公害疾病とその救済」(『社会福祉の基礎知識』有斐閣)	1973
「賃金保護」(『現代労働組合事典』大月書店)	1974
「業務上・外の認定」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「疾病の同一性の有無」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「休業給付と労務不能の概念」(『社会保障事典』大月書店)	1976

「障害給付の問題」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「年金権裁定と手当受給権認定」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「保険料の負担と納付(三・七闘争の法理)」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「保険給付の受給権と損害賠償請求権との関係」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「時効」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「複数の給付相互の関係—併給制限の問題」(『社会保障事典』大月書店)	1976
「児童手当」(『労働運動・市民運動法律事典』大月書店)	1979
「国民年金」(『労働運動・市民運動法律事典』大月書店)	1979
「併給制限とのたたかい」(『労働運動・市民運動法律事典』大月書店)	1979
「職業紹介・職業指導」(『労働法事典』労働旬報社)	1979
「就職・転職促進給付」(『労働法事典』労働旬報社)	1979
「生存権理念の歴史的展開と社会保障・社会福祉」 (『社会保障・社会福祉事典』旬報社)	1989
「人権の思想」(『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規)	2007
「社会福祉の法制」(『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規)	2007

学界回顧・書評

「学界回顧—社会保障法」(法律時報46巻12号)	1974
「学界回顧—社会保障法」(法律時報47巻14号)	1975
「学界回顧—社会保障法」(法律時報48巻13号)	1976
書評 角田豊著『社会保障法の現代的課題』(法律時報49巻13号)	1977
書評 佐藤進著『社会福祉の法と行財政』(社会福祉研究27号)	1980
書評 堀勝洋著『福祉改革の戦略的課題』(社会福祉研究43号)	1988
書評 佐藤進著『社会保障の法体系(全)』(社会福祉研究50号)	1991
書評 菊池馨実著『社会保障の法理念』(季刊社会保障研究37巻4号)	2002

- 書評 増田雅暢著『介護保険見直しの争点』（賃金と社会保障 1354号） 2003
- 書評 堀勝洋・岩志和一郎編『高齢者の法律相談』（書齋の窓 547号） 2005
- 書評 秋元美世著『福祉政策と権利保障—社会福祉学と法律学との接点』（日本社会保障法学会誌 23号） 2008
- 書評 秋元美世著『社会福祉の利用者と人権：利用関係の多様化と権利保障』（『社会福祉学』日本社会福祉学会誌 51巻4号） 2011

学会シンポジウム・翻訳・論評・その他（随想）

(1) 学会シンポジウム・座談会

- 「社会福祉の権利構造と基準」（学会報告）（九州法学会会報1989） 1990
- 「シンポジウム・福祉改革と現代法—その総合的検討—（総論・シンポジウムの趣旨）」（九州法学会会報1994） 1995
- 「座談会・公的介護保険制度の運用と課題」（ジュリスト1131号） 1998
- 「パネルディスカッション・社会福祉基礎構造改革の法的検討（企画の趣旨）」（日本社会保障法学会誌15号） 2000
- 「シンポジウム・医療制度改革—サービスの質と効率の視点から—（企画の趣旨）」（日本社会保障法学会誌17号） 2002
- 「座談会（特集 社会保障法学の軌跡と展望）」民商法雑誌 127巻4・5号 2003
- 「基調講演：ドイツ法に対するヨーロッパ法および国際法の影響（ベルント・バロン・フォン・マイデル）へのコメント—EUにおける最低基準、ワークフェアおよび社会保障負担」（日本社会保障法学会誌20号） 2005
- 「インタビュー 先輩からの助言（第6回 佐藤進先生）」（社会事業史研究 35号） 2008
- 「ドイツにおける社会保険改革と基本理念(1)—ベルント・バロン・フォン・マイデル教授に聞く」（社会関係研究 14巻1号） 2009

(2) 翻訳

- 「自営業者のための老齢および遺族保障—その国際比較—」
（九州大学産業労働研究所報40号） 1966
- 世界保健機関ヨーロッパ地域事務所編『ヨーロッパにおける患者の権利の促進に関する宣言』（監修）（患者の権利法をつくる会発行） 1995
- ジェフ・ファン・ランゲンドク著「社会保障の将来」
（社会関係研究16巻1号） 2011

(3) 論評

- 「石炭政策転換闘争」（『三池20年史』三池炭鉱労働組合） 1968
- 「労働時間短縮」（『ゆりかどの国民生活』社会問題研究所） 1989
- 「高齢化社会の到来と社会保障」（『ゆりかどの国民生活』社会問題研究所）
1989
- 「高齢化社会の到来と不安の増大」（『豊かさへの挑戦』社会問題研究所）
1989
- 「ゆとりを実感させぬ超労働時間」（『豊かさへの挑戦』社会問題研究所）
1989
- 「労働時間短縮をどう進めるか」（『ゆとりの創造』社会問題研究所） 1991
- 「老人福祉法等八法改正と新しい福祉運動をめざして」
（『ゆとりの創造』社会問題研究所） 1991
- 「福祉サービスの苦情」（週刊社会保障1728号） 1993
- 「福祉における自己決定権」（週刊社会保障1745号） 1993
- 「介護保険の選択肢」（週刊社会保障1754号） 1993
- 「自立助長と自己決定権」（週刊社会保障1762号） 1993
- 「医療・福祉の連携に应ずる看護・介護基準の課題」（週刊社会保障1770号）
1993
- 「中嶋事件の問うもの—ふたたび自立助長と自己決定権」
（週刊社会保障1778号） 1994

「収入認定除外基準の問題点」(週刊社会保障1795号)	1994
「権利を問う—在宅サービスの基準保障」 (東京都社会福祉協議会『福祉広報』429号)	1994
「高齢者保健福祉対策の焦点—介護保険と新ゴールドプランの課題」 (福岡都市研究センター)	1995
「『新介護システム』と権利保障」(週刊社会保障1822号)	1995
「福祉サービスにおける適正手続と自己決定権」(週刊社会保障1856号)	1995
「介護保障基本法の提唱」(週刊社会保障1864号)	1995
「実施一年の介護保険と市民オンブズマン—新しい市民社会の権利擁護活動として—」(進歩と改革593号)	2001
「権利擁護の仕組みづくりと日本の課題」 (『ニューエイジング：日米の挑戦と課題』九州大学出版会)	2001
「論評 ケアマネジャーと利用者の権利擁護」(週刊社会保障 2176号)	2002
「年金制度の現状と政策的課題(上)」(進歩と改革 620号)	2003
「年金制度の現状と政策的課題(下)」(進歩と改革 621号)	2003
「政府の年金改正案とあるべき方向」(進歩と改革 628号)	2004
「社民党など野党の年金政策を検討する—年金改正法成立後の年金問題」 (進歩と改革 634号)	2004
「ケアマネジャーのための権利擁護ガイド(1) サービス利用者の権利擁護と権利」(ケアマネジャー 6巻8号)	2004
「介護保険改革の焦点と問題点(上)」(進歩と改革 637号)	2005
「介護保険改革の焦点と問題点(下)」(進歩と改革 638号)	2005
「被保護者の自己決定権—学資保険裁判最高裁判決の意義」(熊本学園大学社会福祉研究所福祉情報誌・くまもとわたしたちの福祉46号)	2005
「社会法から見た大都市問題—社会的排除とワークフェア—」(日本学術会議・大都市をめぐる課題特別委員会報告『大都市の未来のために』)	2005
「女性院生の研究支援」(日本学術会議・学術体制常置委員会報告『女性研究者育成の観点から見た大学院教育の問題点』)	2005

「医療制度改革の背景と問題点」(進歩と改革 650号)	2006
「転換期を迎えて—医療、年金皆保険の課題」(進歩と改革 675号)	2008
「経済危機下のセーフティーネット—EU諸国などと日本の取組みを比較して」(進歩と改革 689号)	2009
「障害者自立支援の法的課題」(熊本学園大学社会福祉研究所報39号)	2011
「『社会保障と税の一体改革』について」(進歩と改革 727号)	2012

(4) その他(巻頭言・随想等)

「『うさぎ小屋』と社会保障」(ジュリスト702号)	1979
「資本論研究会の頃」	
(『大いなる人間模様 奥田八二先生還暦記念文集』社会問題研究所)	1980
「ヨーロッパ調査旅行の思い出」	
(『山より高きその志—八丁和生を偲ぶ—』社会問題研究所)	1989
「住宅統計調査結果を読んで」(ジュリスト947号)	1989
「AIR MAIL 社会法研究会の友人へfrom London」(ジュリスト1010号)	1992
「地域福祉の視点—増える家庭内“棄老”」	
(しあわせの輪(福岡県地域福祉振興基金)40号)	1994
「序にかえて—ヨーロッパにおける患者の権利法制にふれて—」	
(池永満著『患者の権利』九州大学出版会)	1994
「衣笠先生と僚友たち」	
(『政治革新の新たな出発 衣笠哲生九州大学教授退官記念誌』福岡県高等学校教職員組合)	1995
「転居通知」(週刊社会保障1917号)	1996
「福祉サービスを利用する人々の権利構造」(『九州大学研究紹介』14号)	1996
「弁証法的に思考する主体でありたい」(法政研究別冊フォーラム20号)	1997
「国際労働法・社会保障学会第5回ヨーロッパ地域会議の報告」	

（日本社会保障法学会誌12号）	1997
「各大学院における新しい試み—九州大学」（ジュリスト1215号）	1997
「『成年後見問題研究会報告書』を読んで」（ジュリスト1229号）	1998
「弁証法的に考えるということ」（学士会会報819号）	1998
「新しい政治的観点から人間の『自立』を問う」 （『「生きる力」とは』福岡県高等学校教職員組合）	1999
「地域福祉権利擁護における『権利』と『擁護』」 （日本社会保障法学会・会報7号）	1999
「松下さんの最後のメッセージに」 （『松下博史先生遺稿集—受け継がれるいのち—』岡山県教職員組合）	2000
「社会保障法学の役割」（日本社会保障法学会誌15号）	2000
「アドボカシーと介護支援専門員の役割」（GPnet47巻9号）	2000
「日本社会保障法学会20年を迎えて」（日本社会保障法学会誌16号）	2001
「実効性のある権利擁護へ」（日本社会保障法学会・会報10号）	2001
「協力関係の質的発展を期待する—日本労働法学会50年に寄せて—」 （日本労働法学会誌97号）	2001
「学会会議だより」（日本社会保障法学会誌19号）	2004
「私の研究」（熊本学園大学社会福祉研究所福祉情報誌・くまもとわたしたちの福祉44号）	2004
「学会会議だより」（日本社会保障法学会誌20号）	2005
「学会会議だより」（日本社会保障法学会誌21号）	2006
「成年後見と社会保障」（成年後見法研究5号）	2008
「高齢者虐待防止を目指した権利擁護へ」（高齢者虐待防止研究5巻1号）	2009
「奨励賞評：笠木映里『公的医療保険の給付範囲—比較法を手がかりとした基礎的考察(1)~(6)』、福島豪『ドイツ障害年金の法的構造—障害保障と失業保障の交錯(1)~(3)』」（日本社会保障法学会誌24号）	2009